

医療総合支援機構タイムス

発行：医療総合支援機構 / 〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室 電話 080-2658-4749



医療総合支援機構タイムス 第5回 対談

「ヨコグシを通す」ことから生み出されるもの



ヨコグシスト
伊能 美和子
Miwako Iyoku

一般社団法人医療総合支援機構
代表理事
小倉 真治
Shinji Ogura

医療総合支援機構タイムス 第5回 対談

「ヨコグシを通す」
ことから生み出されるもの

ゲスト

ヨコグシスト

伊能 美和子

一般社団法人医療総合支援機構

代表理事 小倉 真治

ヨコグシストは
イノベーションを起こす担い手

小倉 まずは簡単な自己紹介をお願いします。

伊能 NTTグループに長年勤めてきました。転職を経て、現在は独立し、株式会社ヨコグシストの代表をしています。社外取締役なども務めながら、パラレルワーカーとして、また、パラレルキャリアを生きかし、「縦割りの組織にヨコグシを通して、イノベーションの起きやすい、しなやかな会社にする」ということをメインの業務に頑張っています。

小倉 私も救急医で岐阜大学高次救命治療センター長をしていますが、岐阜大学病院院長を4年間、経営を勉強しながら務めました。もうすぐ定年を迎えますが、複合的な仕事ができるのではないかと楽しみにしているところです。伊能さんにまずお聞きしたいのは、組織に「ヨコグシを通す」ことに注目されたきっかけは。



伊能 組織は縦割りになりがちで、社内でも知らないことがあります。わき目を振り、横の動きを見るというのが難しいのであれば、組織にヨコグシを通すように、私がおのれを取り持ち、両者の情報流通を少しでもスムーズにできるように役割を果たしたいと思ったのがきっかけです。これまで「イノベーションを起こしたい」と思ってきましたが、その時に、これまでの組み合わせを一旦解いて、新しく作り出す「新結合」の必要性を知りました。縦割りの組織では、結合に必要な話題やパーツを持っている人同士が出会う機会が少なく、イノベーションからは遠ざかるばかりで、新結合が起きにくい状況といえます。情報を持って歩きまわると、誰かと誰かを結び付ける人、そういう役割の担い手が必要であると感じてきました。

小倉 「ヨコグシスト」というネーミングもとてもインパクトがあり、興味を惹かれました。

伊能 仮説を立てる中で、1970年代にアメリカで提唱された「バウンダリースパナー」という言葉に出会いました。バウンダリーは境界、スパナーは、ボルトやナットを回す工具のことで、レンチともいいます。境界を連結する人のことを指します。日本語としては覚えにくい言葉でした。そこで思い浮かんだのが「ヨコグシスト」。組織にヨコグシを通す人だから、ピアニストのような感じで、新結合を生む人という意味を込めて名付ました。イノベーションが起これ、風通しの良いしなやかな社会になることを目指して取り組んでいます。

求められる
ファシリテーション能力と質問力

小倉 実際の医療の現場では、例えば、大きな病院では内科は消化器、循環器などに細分化され、たこつぼの中にいるような若いドクターが増えています。総合診療でさえ、狭い領域に特化しつつあります。

伊能 そうなんですか？困ったら総合診療医のところに行って、ガイドしていただけるというイメージがありました。

小倉 それが一般的でしたが、必ずしも医療全般を見渡せるわけではないのが実状です。むしろ救急医の方が総合診療と近いと言えます。

伊能 限られた情報と時間の中で、患者さんを診て状況を判断しているということですね。

小倉 救急科における診断のプロセスは主に3つあります。1つはパターン。電話で聞いた情報から、パターンによる認識で判断します。2つ目はアルゴリズム。ABCDの順に1つずつ解決していきます。3つ目に仮説検証。短い時間内で実行しなければならないので、救急現場ではとても重要で、統合脳が必要ですね。

伊能 時間との勝負の中で判断するというのは場数も経験も必要で、情報の連携が良くないと難しいかもしれないですね。まさにヨコグシストですね。

小倉 私もこれまで、ヨコグシを通すことを意識して行動してきましたが、その必要性をどのように感じていますか。

伊能 組織にヨコグシを通そうと思ったら、ファシリテーターとしての能力開発がとても重要です。言い換えれば、問いの能力、つまり質問力が大事になります。日本では「言われた通りにやるのが美しい」とされ、「なぜ？」と思ったことをなかなか口に出しにくい社会でした。小倉先生は、「どうしたらいい？」というオープンクエスチョンを実践されていると感じました。

小倉 ラグビー部でしたので、当時の返事は「はい」か「イエス」という人生を送ってきました（笑）。医学の成人教育では20年ほど前から、相互に意見を出し合うインタラクティブが取り入れられています。



ファシリテーターのような役割を担うインストラクターを置くというのが、実技型の医学教育では主流になっていて、ファシリテーターの重要性を感じます。また、上級医になればなるほど、「あれっ？」と引かなかったことには必ず立ち止まり、質問するように指導する指導者が必要です。意識してそうふるまっています。

伊能 質問は、好奇心と知識と経験の総合格闘技のように感じます（笑）。ビジネスの場合ではエンドユーザーをいかに見て、製品やサービスを作るかが重要です。

小倉 企業の皆さんもシーズを持って来られますが、こちらのニーズと合わないこともあります。逆にこちらの要望に応じてくれる企業とはかなり深い関係を築くことができました。

伊能 シーズとニーズをヨコグシストがつないでいく役割もあると感じています。

小倉 実際にヨコグシストに関わる人たちはどのような人たちですか。

伊能 新しいジャンルやマーケットを作ることを念頭に仕事をしてきましたが、その時のステークホルダーは、サプライチェーンを構成する取引先、お客様、代理店といった直線的な構成もありますが、新しいものを作る時には、競合他社の方もステークホルダーであり、仲間であり、一緒に進めていくことを心掛けました。枠組みを作りながら、そのビジネスでの標準化を図ることを目指してきました。

小倉 医療も同様に、大学病院とそれ以外の病院は競合でもあり、仲間でもあります。病院長の時に、直接的なステークホルダーと共に重要視したのが間

接的に関わる人たちです。病院の評判を左右する意味ではとても重要な存在と感じました。そこで、前例がありませんでしたが、報道専門官を登用しました。そのおかげで、大学病院のイメージが大きく変わったという意見も多く聞かれました。

境界を越え、再び連結し、 新結合が生まれる

小倉 私の経験からみると、ヨコグシを通すことは情報も人材も相互に流れやすくなると思います。一見無駄な時間のように見えますが、おそらく、成長を促す肥料のような経験となり、人材育成が促進するのではないかと考えています。

伊能 近年は越境学習が注目されています。境界を越え、また戻ってきたら連結できます。また次の方と出会ってつながっていくと、新たなイノベーションがきっと起きると思っています。

小倉 医学部生は卒業して5年経つと専門医が取れますが、救急を学んだ“弟子”たちは、その後、整形外科などほかの専門医を取りに3年間修行に出します。その後、大学に戻って来るというシステムにしています。

伊能 まさに連結する人材ですよ。すでに医療の世界で小倉先生は実践されていますね。救急科はまさに総合医療の塊のような感じで、現場でつらい思い、喜びを感じたり、自分の知識が足りないと思ったりして、専門的な医療を学び、再び救急の現



場に戻るといえるのは、深みが増していますね。

小倉 外部の病院から課題を解決したくて、大学病院に来ているスタッフもいます。普通は母校出身者が多数を占めますが、岐阜大学の場合は、7割ほどが他大学出身者で、全国15の大学から来ています。まさにダイバーシティーです。

伊能 境界が連結されていて、オープンイノベーションですね。多様な経験をした人がいることで、今まで気づかなかったことにも気づくことができますね。

小倉 一方、組織としてはフラットに近くになっていくと思います。そうすると、責任の所在が分かりにくくなります。責任者を明確にして行動しないといけないと思いますが、配慮する点はいかがですか。

伊能 組織は万能ではないので、支配型のマネジメントが良いケースもありますが、言われた通りにやることに拒否感を持つ若者も多くいます。鑑みると、よりフラットな組織にせざるを得ないところもあります。ファシリテーター型のリーダーシップは、情報や経験、データを出し合いながら、良いものを小ロットから生み出し、回転数を上げていくため、まさにヨコグシといえます。しかし、責任の所在は明確にする必要があります。大切なのは責任の取り方、プロセスにあります。マネージャーはファシリテーションスキルを求められています。また、構成している人同士のコミュニケーションもとても大事であり、ヨコグシとして重要視しています。

小倉 チームの中もヨコグシを通すということですね。

伊能 そうです。バズアイを持って、全体を俯瞰し、組織を見ていくことが大切だと思います。

ヨコグシの重要性や 役割が見えるカタチに

小倉 今後益々ヨコグシを盛り上げていくことが必要であることを改めて感じましたが、これからの抱負をお聞かせください。

伊能 ヨコグシには、ファシリテーションスキルは絶対必要です。その意味では、経験豊富なシニアの方々にもぜひヨコグシになっていただいて、

もう一度活躍していただける場、役割を作って、盛り上げていきたいです。最初のステップとしては、ヨコグシのコミュニティーを作りたいと思っています。例えば、全国で活躍しているヨコグシを通す人たちを見出し、「ヨコグシスト・オブ・ザ・イヤー」「ヨコグシスト・アワード」といった感じで表彰するなど、活動を見える化していくことで、もっと重要性や役割が皆さんにもご理解していただけていると思っています。また、企業にチーフ・ヨコグシスト・オフィサー（CYO）を置くと良いのではと考えています。他社とのアライアンス、オープンイノベーションを進めようとする時に、各社のCYOがつながることが理想的です。相互の利害関係を理解しつつ、共通に取り組める目標設定や行動様式を作り出すことができ、イノベーションが起きるようになると思います。CYOを育成して派遣するビジネスもの展開も考えています。

小倉 日本全体にとっても重要かつ有益なことですね。

伊能 いろいろな方々とヨコグシが通ることで、大きなムーブメントが起きるのではという期待を持っています。



小倉 ぜひヨコグシスト協会と一緒に結成しましょう。

伊能 光明が見えました。このような機会をいただき、私が行っていること、考えていることの背中を押していただいたような感じで、大変心強く思っています。

小倉 私も同好の士がいると思いました。私自身もさらにいろいろな広い領域の仕事をしていきたいと考えていますが、ヨコグシを通してつながっていくことを願っています。将来のために、今後も一緒にやらせていただければと思います。ありがとうございました。



＋ 新規会員紹介 新たに入会された医療機関をご紹介します

正翔会クリニック 江南

理事長 兼 江南院長 長尾 強志 先生

正翔会クリニックは2015年12月に在宅医療を開業し、現在は6か所の事業所を展開しています。在宅医療をはじめたきっかけは、ある入院患者さん、そのご家族との出会いからでした。退院後は「自宅で療養をしたい」と在宅医療を希望されている方でしたが、まだひとりで生活をしていくには不安があり、日々の生活を支援する医療従事者のサポートが必要でした。そこで家族の代わりになれるような、まるで自宅が病院であるかのようなクリニックがあればと思い、この事業所を作る決意をしました。日常の不安を可能な限り取り除くことを第一に考え24時間365日いつでもご自宅に訪問し、患者さんの健康状態や心のケアを誰よりも理解できるような、家族以上の医療従事者を目指していきたいと思っています。また、今後も必要に応じて連携病院や開放病床を利用して迅速な急性期医療を提供できるよう努めていきたいと思っています。

～私はこれからも関わるすべての方を“仲間”だと思っています～

在籍医師の診療科目

内科・循環器科・神経内科・皮膚科・形成外科・呼吸器内科・眼科・小児科・耳鼻咽喉科・整形外科・精神科・消化器内科

略歴

防衛医科大学校卒	横浜旭中央総合病院
防衛医科大学病院	総合犬山中中央病院
東京都共済組合三宿病院	サンエイクリニック



編集キャッチ

長尾先生は、働く環境や職場の雰囲気・風土も大切にしており「働くときは働き、休むときは休む」をモットーにし、職員が有給休暇取得した際の旅行代なども支援しています。また、キャリアアップのために資格取得支援などを行っており、一緒に働く職員をとっても大切にされている先生でした。



クリニックのシンボルマーク

尾長鶏(オナガドリ)

家を守る尾長鶏のように、目の前の患者さんとご家族の安心を守る



正翔会クリニック 江南

所在地／
江南市飛高町栄272番地
電話／0587-81-8126
F A X／0587-81-8216

おおすきクリニック

院長 大渡 祐己 先生

2023年5月1日に開院し「総合診療所」として小さなお子さんから高齢の方まで地域に根ざしたかかりつけ医として、皆さんが健康で笑顔になれる医療を提供します。総合医療の窓口として小さな病気から大きな病気まで、早期発見・早期治療・予防医療の役割を担うクリニックです。何科を受診していいかわからない場合や少しでも不調に感じることがあればいつでも気軽に相談下さい。どんな疾患でも尻込みするような症例でさえ逃げることなく治療します(診療割合／総合内科4、集中治療4、救急2)。今後の目標としては、診療看護師を採用し、治療対応の拡大を目指していきたいと考えています。大学院で学ばなくても当院で勉強できるよう、診療室を設け、教育できる環境づくりにも力を入れてきたいと思っています。そして一人一人の疾患や背景にあわせて、一緒になって方針を考え、治療を行っていききたいと思います。

経歴

2011年3月 鹿児島大学 卒業
2011年4月～2013年3月 協立総合病院 研修医
2013年4月～2015年3月 藤田保健衛生大学 救急総合内科 助手
2015年4月～2017年3月 藤田保健衛生大学 救急総合内科 助教
2017年4月～2018年3月 名古屋記念病院 救急科 外来医長 (最優秀指導医賞 受賞)
2018年4月～2021年9月 藤田保健衛生大学 救急総合内科学 助教 ※2018年10月藤田医科大学名称変更
2021年10月～ 一宮市立市民病院 救急科(小児も含む)医長



編集キャッチ

診療時間になるとディズニーのBGMが流れるほどディズニー好きな大渡先生。院内にはふと気づくと、ディズニーのキャラクターがあらゆる場所に存在します。おしゃれで開放的なクリニックは訪れるだけで楽しくなります。



おおすきクリニック

所在地／
一宮市今伊勢町馬寄字北塚本1-1
電話／0586-82-8232
診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00
休診日／木曜日午後、土曜日午後
日曜日、祝祭日

＋ 医療会員紹介 医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

石木クリニック

院長 石木 佳英 先生

私は、患者さんのニーズにこたえられるような診療をしていきたいと思っています。

その中でも特に、内視鏡診療をメインにおこなっており、胃や食道などの上部内視鏡検査は月におよそ120件、大腸内視鏡検査は30件行っています。在宅患者さんも現在15名ほどの担当しており、在宅での看取りも行っております。他にも禁煙治療、睡眠時の無呼吸症候群の簡易的な検査、AGA「男性型脱毛症」の診療も行っており、あらゆるニーズにお応えできるよう取り組んでいます。

「オンライン診療」ではなく、しっかりと対面で話し、聴診器をあてたり、お腹を触ったりと、患者さんの状態を判断し、そのうえで必要に応じて検査を行っています。

患者さんにいい医療を提供するためには、職員が楽しく仕事をしていなければなりません。年一度は2泊で職員旅行へいきます。春、夏、秋には1日休診日にして遠足にいきます。

職員一緒になって「一生懸命働き、一生懸命遊ぶ」をモットーに日々頑張っています。



◆石木クリニック

所在地／関市西本郷通3-7-41
電話／0575-23-7455
F A X／0575-23-7455
診療時間／9:00～12:30、15:30～18:30
休診日／木曜日、土曜日午後
日曜日、祝祭日

おおのレディースクリニック

院長 大野 元 先生

モットーは「一日ひとり、不妊治療にて人口を増やしたい」

当院では、できるだけ早く、身体に優しい治療で妊娠することを最優先しています。

そのため、一般的な「ステップアップ治療」は行っていません。「必要以上の検査」も行っていません。きちんと排卵があるのに、排卵誘発剤を使う意味はあるのでしょうか?これらを考慮しないで、教科書的に、漠然とステップ治療をすることで、無駄に時間を費やしてはいませんか?

より早くママになるために何をすべきか?妊娠できないことに対する苦悩をいかに早く取り除くことができるか?私たちは、患者さまの希望を優先しながら、最も高い治療を、できる限り軽減して提供しています。

当院の診察券を見てください。休診がありません。排卵はお産と同じように、いつ起こるかわかりません。それを考えると休んでいられません。

岐阜周辺の人口を増やしたい。私たちは常に患者さまの幸福だけを願っています。



◆おおのレディースクリニック

所在地／岐阜市光町1-44
電話／058-233-0201
F A X／058-232-7148
診療時間／9:30～12:30
16:00～19:00
休診日／土曜日、日曜日午後

梶の木内科医院

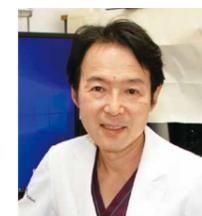
院長 梶 尚志 先生

地域の皆さま、スタッフ、その家族に対して一生のパートナーとして、寄り添う覚悟で診療にあたっています。

梶の木内科の理念は、社会貢献と人材育成です。共に働く医師や医療従事者、事務職員を「人財」として育てていきたいと思っています。感謝の気持ちや喜びを共有することにスタッフのモチベーションがあり、それを他人へ広げることに喜びを感じているような人材です。

スタッフの教育には力を入れています。診療の合間に、「仕事の目標・目的を持つことが大事である」ということを指導しますが、一緒にWebセミナー受講をしたりして、共に成長しつづけることが地域貢献、他者貢献へとつながっていると思います。当院の特徴として、内科疾患に限らず、アレルギーや皮膚科領域など「身近にあって何でも相談にのってくれる総合的医療」を心がけています。

また、お子さんからお年寄りまでサポートできるよう、梶の木保育園(認可保育園開設)を立ち上げ、在宅医療に力を入れています。当院では、病だけをみるのではなく、病人だ人そのものに向き合う「心のケア」の取り組みもおこなっておりますので、少しでも気になることがありましたら、気軽にお越しいただき、ご相談下さい。



◆医療法人梶の木会 梶の木内科医院

所在地／見里市川合2340-1
電話／0574-60-3222
診療時間／9:00～12:00、15:00～19:00 (※土曜日のみ13時まで)
休診日／木曜日、土曜日午後
日曜日、祝祭日

かとう耳鼻咽喉科サージッククリニック

院長 加藤 雅也 先生

大学院勤務医時代の経験を活かし、特に手術を含めて質の高い医療を提供していきたいと思っています。

広範囲な耳鼻咽喉科疾患に対応できる医療施設であり、これまで中耳炎手術を中心に取り組んできた経験から、手術はもちろんのこと、可能な限りここで完結できるような治療を努めています。それだけではなく、幼少期から岐阜で過ごしてきた人的ネットワークから、近隣の病院との深いつながりをもつことで、より良い医療が行えるよう心がけています。

耳鼻咽喉科疾患のみならず、困ったことやご相談がありましたら、気軽に当院へ足を運んでください。

【得意とする疾患】

- 中耳炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、蓄膿症(慢性副鼻腔炎)、鼻出血、めまい、難聴、睡眠時無呼吸症候群など
- アレルギー性鼻炎に対するレーザー治療可能
- 耳鼻咽喉科(耳・鼻・のど)の病気全般
- 画像ファイリングソフトを導入、顕微鏡やファイバースコープ(耳・鼻・咽・喉頭の画像)所見、デジタルレントゲン、各種聴力検査などを供覧



◆かとう耳鼻咽喉科サージッククリニック

所在地／各務原市蘇原花園町1-57-1
電話／058-389-8733
F A X／058-389-0404
診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00
休診日／水曜日、土曜日午後
日曜日、祝祭日

医療会員紹介 医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

岐阜清流病院

理事長 名和 隆英 先生

「笑顔で生きて、笑顔で死にたい」
大多数の方の願いではないでしょうか。清光会は地域の皆様のそんな願いが叶うよう、ありったけの努力、心遣いをします。

急な病気にかかってしまった時、病気はよくなったけど動けなくなってしまった時、ご相談下さい。元気になっていただけるよう全力を尽くします。高齢のご家族の方が弱ってきたと感じられた時、弱られた時、ご相談下さい。ご本人とご家族の希望が叶うようサポートをさせていただきます。

最期を迎えられる時、ご相談下さい。一生で大切な時間をより良く過ごしていただけるよう、寄り添います。医療・介護を通じ、地域の皆様に「笑顔あふれる暮らしをお届けします。」これが清光会の理念です。

皆様に笑顔になっていただける、気軽に使っていただける、地域に根差した法人でありたいと思います。

何卒、よろしく願い申し上げます。



さくらクリニック

院長 佐竹 真一 先生

当院は、胃・大腸の内視鏡検査がセールスポイントであり、同日に両検査を実施することができるのも魅力の一つです。大腸内視鏡検査では、下剤を飲んだ後の待ち時間を個室で過ごすことができます。個室は全4部屋あり、トイレやテレビ、ソファー等も完備されており映画鑑賞もできます。なるべくリラックスして患者さんの緊張を和らげる空間づくりを心掛けています。先進医療機器の導入・検査を行うことで、早期に小さな病変を発見することができます。他にもエコーやCTなどの導入により高いレベルで検査を行うことができます。

専門分野だけではなく、風邪などの内科や小児科など、幅広い診療に対応しておりますので、まずは気軽にご予約・ご連絡いただければと思います。



◆岐阜清流病院
所在地/岐阜市川部3-25
電話/058-239-8111
FAX/058-239-8216
診療時間/9:00~17:00
9:00~12:00(土曜日)
休診日/土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始

◆さくらクリニック
所在地/瑞穂市稲里689-3
電話/058-325-0570
診療時間/9:00~12:00
16:00~19:00
休診日/木曜日午後、日曜日、祝日

白井病院(眼科専門病院)

(右)理事長 白井 義人 先生 (左)病院長 宇野 俊彦 先生

病院の財産である「人」が一番大切にしています。

「人」に関しては定数にとらわれず、当院にとって必要とする人材であれば定数を超過して積極的に採用しています。業務のパフォーマンスを上げるためには、一人ひとりに余裕がないと質の高い仕事をしたり、良好な人間関係を築き上げたりすることが難しくなります。

また、人材育成には特に力を入れており、中途採用であってもチューター制度を取り入れ、当院の業務にフィットするまでバックアップしていきます。

眼科専門病院として、職員全員には眼科医療に携わるプロとして活躍して欲しいという思いで医師や医療従事者だけでなく、事務職員にも学会や研修等に積極的に参加してもらっています。

そして「医療機器」「外部医療機関」に対しては、既成概念を捨て、法人独自の考え方を持っています。最新の検査機器や手術機器を導入することで最良の医療を提供していますし、大学医局の枠にとらわれず、さまざまな専門医が勤務しており、眼科疾患のほとんどは当院で完結することができます。

これからも、患者さんに「来てよかったあ」と言っていただけけるよう『満足』のいく医療を提供できるよう心がけていきたいと思ひます。



◆医療法人名世社 白井病院(眼科専門病院)
所在地/香川県三豊市高瀬町上高瀬1339
電話/0875-72-3131
FAX/0875-72-3134
診療時間/8:30~12:00
14:00~16:00(土曜日17:00)
休診日/日曜日・年末年始

東海中央病院

病院長 松井 春雄 先生

当院は公立学校共済組合の職域病院として設立されましたが、その後、地域住民の方々にも開かれた病院として、現在では、職域の健康管理を担うとともに、各務原市及びその周辺地域において、実質的に市民病院の役割を果たす中核的な公的病院です。

その責任上、経営上不利とされる不採算部門も含めて地域医療に貢献しています。

医療は公共財であるために効率の良い経営が必要ですが、同時に単純な利益至上主義にならないように努力しています。

将来は地域に貢献するために地域枠の医師が活躍できる場を整備したいと考えています。

2011年3月に新病院を開設し、これからが大きな飛躍の時期にあたります。今後も、地域の医療・介護・福祉のコミュニティに密着した親しみのある病院を目指し、日々努めて参ります。



◆東海中央病院
所在地/各務原市蘇原東島町4-6-2
電話/058-382-3101
診療時間/8:30~11:30
休診日/土曜日、日曜日
祝祭日、年末年始

医療会員紹介 医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

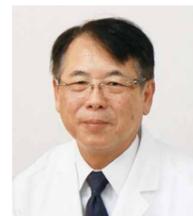
独立行政法人国立病院機構 長良医療センター

院長 松久 卓 先生

当院は、2005年3月に国立療養所岐阜病院と国立療養所長良病院の2病院が統合し誕生しました。主に筋ジストロフィー・重症心身障害等のセーフティネット医療、結核をはじめとする呼吸器疾患、小児科疾患全般、産科周産期医療を4本柱として専門性の高い医療を提供してきました。しかし医療を取り巻く環境も大きく変わりました。今後は従来の小児科疾患や呼吸器疾患の急性期を受け入れながら、さらに慢性期医療や終末期医療の提供についても視野に入れていきたいと考えています。

私の強い願いは2つあります。1つ目は、この病院が患者さんや職員にとって大切であり、なくてはならない存在であり続けることです。そのためには地域の皆さまと本音で話し合い、一緒になって考えることが重要です。2つ目は、職員がやりがいや誇りをもって働ける職場にすることです。本人のキャリアアップなどを積極的に応援し、援助し続けていきたいと考えています。

今後、超高齢化社会を迎える2040年を見据えて当院はどのように舵をとっていくか、当院が本当に地域の人々から必要な病院であり続けるためにどうしたらよいかを考えながら職員一同努力していきたいと思ひます。



◆長良医療センター
所在地/岐阜市長良1300-7
電話/058-232-7755
FAX/058-295-0077
診療時間/8:30~11:00
休診日/土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始(12月29日~1月3日)

松波総合病院

病院長 松波 和寿 先生

「地域に必要とされる病院へ」

当院は2014年7月に急性期医療に特化した北館が完成し、災害時の医療体制を整えると同時に、救急・急性期医療の充足を図っています。同時に、手術室を増室することで大動脈瘤、急性心筋梗塞や脳卒中にも24時間迅速に対応できるよう、万全な体制をとっています。

ESなくてCSなしという言葉がありますが、当院では7階全フロアを医局とし、医師全員が垣根なくコミュニケーションをとることが出来るよう、充実した居住空間を確保しています。その結果、高い専門性を有した指導医たちと若手医師がいつでも気軽に意見交換ができる研修の場にもなっています。様々な専門医と総合診療医に接することでヒト全体を診ることのできる総合医的な能力が若い医師に身につかずです。

最近、イノベーション(技術革新)推進本部という部署を立ち上げました。地域に貢献すべく、考え方やシステムなど新しい価値観を創造し、日常業務に大きな変化をもたらす重要な部署となります。今後は、職員で決めた3か年ビジョンを実現していきたいと思ひます。

【3か年ビジョン】
●地域包括ケアシステムの要として、日本一の民間病院になる。●誇りを持った職場になる。●選ばれる病院になる。●全職員が志を同じくし、常に成長・変化できる組織。



◆松波総合病院
所在地/羽島郡笠松町田代185-1
電話/058-388-0111
FAX/058-388-4711
診療時間/8:00~11:30、14:00~16:30
休診日/土曜日午後、日曜日
祝祭日、年末年始

まついファミリークリニック

院長 松井 聡 先生

当院の前身、まつい小児科・小児外科医院は、数多くのお子様を診療し、小児医療を通じた地域貢献を果たして参りました。

昨今少子高齢化が一層進み、小さなお子様のみならず、ご高齢の方まで幅広くサポートできる診療所に変わるのが望ましい時代となり、より全人的な医療が提供できるクリニックへと進化すべく、2020年2月よりまついファミリークリニックと名を改め、新築リニューアルオープンいたしました。

父子2人3脚で近隣、岐阜地域のお子様からご高齢の方に至る全ての方の「かかりつけ医」として、専門病院との架け橋となる「ゲートキーパー」として、地域医療に貢献して参ります。

小児診療はこれまで通り、一般内科外科診療もしっかりと行って参ります。わたくし個人といたしましても、父の意思と信条を受け継ぎ、小児診療を大切にしつつ、これまで岐阜大学病院や市内の中核病院、名古屋のがん専門病院で外科医として小児医療から高齢者医療まで幅広く経験したことをもとに、総合診療医として地域の皆様に父とともに医療貢献できればと思ひて参ります。お困りの際は当院へなんでもお気軽にご相談ください。



◆まついファミリークリニック
所在地/岐阜市福光東3丁目9番の7
電話/058-233-2345
診療時間/9:00~12:00
16:00~19:00
休診日/土曜日、日曜日
祝祭日、年末年始

よしだファミリークリニック

院長 吉田 直優 先生

モットーは「人生を診療にささげる」です。

地域に根差し、生後0歳から90歳をこえる急性期から慢性期まで、すべての患者さんの要望にこたえるという意味で「ファミリー」という名前をつけました。実際に4世代で通って来ている患者さんもいます。

大学救命救急センターでの経験から、消化器、外科をメインに診療しつつ、地域の救急センター的なイメージを持っています。全ての疾患の入口を守るゲートキーパーとして、また、胃がん、大腸がんなどの悪性疾患の早期発見診断を目指しています。適切な高次医療機関に患者さんを紹介することができるのも、大学時代からの友人や先輩、後輩のおかげです。

今後も地域のご家族全員に愛される病院をめざし、全力を尽くして皆さんのお力になります。予防接種・人間ドック、上部消化管内視鏡検査(経鼻極細胃カメラ)による検診や、ウォーターベッド型マッサージ器など各種機器を多用したりハビリテーションも行っていますので、お身体で気になる事がございましたら、いつでもお気軽にお越しください。



◆よしだファミリークリニック
所在地/岐阜市竜田町7-8-1
電話/058-248-1118
FAX/058-248-1101
診療時間/9:00~12:00、16:00~19:00
休診日/水曜日、土曜日午後
日曜日、祝祭日

医療会員紹介

医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します

米倉胃腸科クリニック

理事長 米倉 幸人 先生 / 院長 米倉 悦子 先生

昭和57年に当地で開院して現在に至ります。消化器疾患(胃腸、肝臓、胆のう、すい臓など)の診断や治療を中心に、一般診療や健康診断、ワクチン接種など行っております。診察は2診察体制で行っております。このようなコロナ感染が心配される状況となっていましたので、なるべく院内での待ち時間の少ないように、予約制も併用し診療しております。



当院は、リスク管理、早期発見、早期治療を心掛け、基幹病院との連携をスムーズに行えるように、患者さんの病歴管理などに努めております。当院のみでは解決できないことが起きた場合には、速やかに基幹病院へ紹介し、患者さんの経過が少しでも良くなるようにと、日々診療にあたっています。また検査後の説明も、患者さんに分かりやすく、丁寧に説明することを、心掛けています。これからも、『相談できる地元のクリニック』を目指し、基幹病院や地域診療所との連携を取りながら、地域医療に貢献できるように努力して参りたいと考えております。

今後とも宜しくお願い致します。

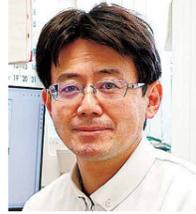


◆米倉胃腸科クリニック
所在地 / 各務原市鵜沼西町3丁目131
電話 / 058-370-0781
診療時間 / 9:00~12:00
16:00~19:00
休診日 / 水曜日、土曜日午後
日曜日、祝祭日

若原整形外科

副院長 若原 和彦 先生

1985年開院38年目を迎えて「安心と満足」をモットーに、地域の皆様に信頼される医療を目指し、日々診療をおこなっています。これまで岐阜大学の整形外科の医局員として、ここ10年は掛斐厚生病院や下呂温泉病院など関連病院の勤務を経て地域医療について学んできました。周辺の病院で手術をした患者さんを積極的に受け入れており、理学療法士4名をおくことで一人ひとり丁寧なリハビリを行っています。また、スポーツ障害にも力をいれており、より細部までよみとることのできる超音波検査を取り入れることで小さなお子様からご年配の方まで幅広く対応することができます。整形について困っていることがあれば、どんなでも気軽にお越しいただければと思います。



今後地域に密着した「患者様に信頼される医療」を目指していきたいと思っております。



◆若原整形外科
所在地 / 岐阜県掛斐郡大野町黒野117-2
電話 / 0585-34-3322
診療時間 / 9:00~12:00
16:00~19:00
休診日 / 木曜日午後、土曜日午後
日曜日、祝祭日

TOPICS

子どもの発熱 原因と観察方法・手当について解説



記事の内容はこちらから▶

子どものバイタルサイン(生命兆候)のなかでもとくに変動が大きく、受診のきっかけとなるのが発熱。子どもの発熱には、原因となる疾患が多様にあります。発熱中の観察や看護によって、疾患の発見が遅れたり、発熱後の体力の回復や経過に変化が生じたりすることもあるのです。今回は、子どもが発熱する原因や観察の方法、対処法などについて詳しくお伝えします。

子どもの体温の特徴

子どもが発熱する原因

発熱時に観察すべきこと

初回発熱には熱性けいれんに注意する

小児発熱時の手当の仕方

TOPICS

嚥下の障害に気付いたら? その原因・症状チェック・ 食事対処法



記事の内容はこちらから▶

「一緒に暮らす祖母が、食事中にむせるようになってきた」「嚥下障害は、どんな症状? 対処方法やリハビリはあるのかな」このようなお悩みはありませんか。「家族が食べ物をつまらせたなら…」と思うと心配ですよね。

嚥下障害とは、食物を口に運び、噛み、かたまりにして飲み込み、食道から胃に運ぶまでの動作がうまくできない障害です。嚥下障害のリハビリには、言語聴覚士を中心に多職種が関わります。

嚥下障害とは何か、原因、誤嚥性肺炎、症状チェック、食事の対処方法、言語聴覚士が行う嚥下障害のリハビリについて解説するので、家族のむせこみが気になる方は、参考してみてください。

嚥下障害とは何か

嚥下障害の原因

嚥下障害の症状チェック

嚥下障害と誤嚥性肺炎

自宅でする嚥下障害の対処方法

言語聴覚士が行う嚥下障害のリハビリ

嚥下障害が気になったら耳鼻咽喉科へ

記事目次

賛助 会員紹介

事業へ賛同していただいた会員の皆様をご紹介します

アナリーズ・コーポレーション

(山田会計事務所マーケティング事業部)

■コンテンツ・マーケティング

- ・貴院と患者さんをスマホでつなぐ!
- ・患者さんに訴求する貴院の特色を検討
- ・貴院の特色をデジタル広告化
- ・ホームページのアクセスログ解析

■セカンド会計顧問

- ・決算申告は現行の会計事務所のままで
- ・月次経営決算書による オンライン経営診断
- ・給与計算等のアウトソーシング受託



https://hp-keiei-shien.net/
TEL:058-215-1855 FAX:058-215-1833
〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室

搬出も重要な役割です。

・ホイスは1人の搬動に10分かかりますが、ヘリポートがあれば1分で10人搬動できます。
・病院機能がダウンした場合、他院搬送への患者搬送が必要になります。
・救急患者の受け入れのみがヘリポートの役割ではありません。

ヘリポートの役割を検討する方は必読!

新刊『新・ヘリポートの造り方』 木下 幹巳 著

発行 エアロアシリティイーター株式会社
編集・制作 株式会社創設院新社
A4横・カラー、120頁 定価3000円(税別) www.aero.co.jp (社)051 TEL 03-5402-6810

ナチュラルミネラルウォーター 機能水・清涼飲料水の製造販売



DMC 奥長良川名水株式会社
岐阜県関市河津東原291番地 TEL:0581-58-9011 FAX:0581-58-9010
☎0120-320-355 奥長良川名水 検索
受付時間/3:30~17:30(土・日・祝日を除く)

SUZUKI GROUP

企画・制作 グラフィックデザイン カラーマネージメント プリプレス IRサポート
印刷通販 TIA WEB制作 オンデマンド印刷 映像・動画制作・中継 商業写真撮影

岐阜製版株式会社

〒502-0822 岐阜県岐阜市福田町1丁目30番地
TEL.058-233-1313 FAX.058-233-6248

事業内容 企画・編集・デザイン・組版・Webサイト
撮影・動画制作・製版・印刷製本・物流

印刷を通じて
社会に役立ちたい。

周年事業 出版印刷 Gifu ebooks

社名・記念誌やロゴなど
周年記念事業を
トータルサポート。

社名・記念誌やロゴなど
周年記念事業を
トータルサポート。

岐阜県・37自治体と契約中!
岐阜県に特化した電子書籍
ポータルサイトを運営。

本社 岐阜県本巣郡北方町北方148-1
TEL 058-324-2111 FAX 058-324-2119
東京営業所 東京都千代田区千代田1-4-9 松道ビル4階
TEL 03-3293-8441 FAX 03-3295-0806

～快適な暮らしをトータルプロデュース～

TOHYAMA
株式会社 トオヤマ

「清潔」と「健康」の
プロフェッショナルとして、
未来を支え続けます。

- ・リースキン事業
- ・調剤薬局事業
- ・介護用品レンタル事業
- ・病院関連事業
- ・アクアクラ事業
- ・ハウスケア事業
- ・寝具レンタル・リネンサプライ事業

株式会社 トーカイ

〒500-8828 岐阜市若宮町9丁目16番地
TEL 058-263-5111 <代表>

ソフトウェア開発 モバイルアプリ開発 webサイト制作

株式会社パケモ

愛知県名古屋市中区栄1丁目14-13
アーク新栄ビルディング8F

☎052-325-6789
http://pakemo.jp

会員募集

当法人では、医療に関わるあらゆる方の悩みや不安を解決するための支援を行っています。医療会員、またこの活動に賛同する賛助会員を募集中です。是非ご入会をお待ちしております。

現在の医療会員に対する特典

①機関誌に掲載 ②ホームページ掲載
③ホームページ作成支援
④セミナー ⑤各研修・講習

問い合わせ先

一般社団法人医療総合支援機構 事務局
MAIL: info@iryousougoushien.jp
TEL:080-2658-4749 FAX:058-230-6451

我友人杉田玄白所譯之解體新書成矣令予寫之圖焉
夫紅毛之畫也至矣哉如余不佞者非敢所企及雖然又云不可
圖怨及朋友嗚呼與買怨于同胞寧流臭於千載邪四方君

子幸怨也

東羽秋田藩小田野直武

